



Chartered April 11, 1998

THE Y'S MEN'S CLUB OF ASHIYA

President : Yasuo Ueno Address: 〒659-0074 2-8-304 Hirata-cho, Ashiya, Japan
 Mail : uenoashiya@kbd.biglobe.ne.jp
 URL : http://www.kobeymca.org/kobe_ymca/ys/ashiya.html

主 題

国際協会会長 ケンワン・オン(シンガポール)
 “Faith, Love, Action” 「信念、愛、行動」
 アジア太平洋地域会長 田上 正(熊本むさしクラブ)
 “Act now with faith and love” 「信念と愛を持って行動しよう！」
 西日本区理事 中井真一(奈良クラブ)
 “Let's enjoy the YYY life together with our friends all over the world!!” 「世界中の仲間と YYY ライフを楽しみましょう !!」
 六甲部部長 柳 敏晴 (神戸西クラブ)
 「温故知新 Visiting Old, Learning Now!」
 芦屋クラブ会長 田辺征一
 「クラブを愛し楽しみ仕えあう」
 (Love, work for and enjoy the Club, together)

今月の聖句

心の包皮を切り捨てよ。二度とかたくなになつてはならない。
 申命記10章16節

6月第1例会

と き: 2026年6月17日(水) 19:00~21:00
 と ころ: ホテル竹藪芦屋
 司 会: 柏原佳子書記

- | | |
|----------------------------|---------------------------|
| 1. 開会点鐘 | 田辺征一 会長 |
| 2. ワイズソング斉唱 | 一同 |
| 3. 聖句朗読 | 権 甲植 ワイズ |
| 4. 食前感謝 | 上野恭男 ワイズ |
| 5. 会食・歓談 | |
| 6. 円卓を囲んで「芦屋クラブのこれからを話し合う」 | 福原吉孝 次期会長 |
| 7. 第2例会議事録の承認 | 田辺征一 会長 |
| 各事業委員の報告 | 各事業委員 |
| 8. YMCA報告 | 井島裕介 担当主事 |
| 9. ニコニコ献金報告 | 坂東幸子 ワイズ |
| 10. 誕生日祝い | 田辺征一 会長 |
| | 上野恭男・桑野友子・船橋知子・山口光一(各ワイズ) |
| 11. 閉会点鐘 | 田辺征一 会長 |

会 長 田辺征一
 直前会長 柏原佳子
 副 会 長 福原吉孝
 書 記 柏原佳子
 会 計 桑野友子
 監 事 上野恭男
 担当主事 井島裕介
 六甲部地域奉仕・環境事業主査 福原吉孝

6

June, 2026
 347 号

「日々是雑感」

会長 田辺征一



まだ5月だというのに深夜の室内温度は27℃、思わず窓を開けて再び眠りにつく。こんなことは今までになかった。この夏の酷暑が思いやられます。「田辺さんなら大丈夫！」という甘い言葉にのせられて引き受けた会長でしたが、クラブ新人の私には慣れないことが多く、

キャビネットの皆様には随分とお世話になりました。特に、私のパソコン不調によりグループメールが2か月近く不通になり皆様には大変ご迷惑をおかけいたしました。原因はいまだ不明ですが、改めましてお詫びいたします。先日、岡山クラブの60周年記念例会に出席しました。鳥取にいたころは岡山大学に行く機会が多く岡山は身近な存在でしたが、鹿児島に移ってからはその機会もなく実に30数年ぶりでした。例会には各地から90名近くが参加し盛会でした。特筆すべきことは、私事ですが、鳥取にいた頃、当時大学生で学生YMCA(通称ガクワイ)のメンバーだった板野靖雄ワイズ(岡山クラブ)に46年ぶりにお会いできたことでした。思わずハグをし、再会を喜び合いました。ワイズの仲間として旧交を温めあうことのスバラシさに改めて感謝です。試行錯誤の1年間でしたが、皆様のご協力により会長を終えることができました。本当にありがとうございました。

5月第1例会集計

第1例会出席	例会出席率	BF切手
メンバー 13名	出席者 13名	累計 gm
メネット 名	メイクアップ 名	
コメント 合計 名	合計 名	ニコニコ
ビジター 1名	在籍者 17名	
ゲスト (内広義会員1名)	出席率 81%	累計 10,560円
合計 14名		累計 97,130円

5月第1例会報告

日時：2026年5月20日(日) 19:00～21:00

場所：芦屋市民センター203号室 (敬称略)

参加者：田辺征一 会長・上野恭男・柏原佳子・桑野友子
島田 恒・堤 清・中島かおり・濱瀬眞知子
坂東幸子・福原吉孝・船橋知子(各ワイズ)
井島裕介 担当主事

ビジター：加茂周治 ワイズ(神戸西)

5月20日の例会は市民センターでの開催となった。今回は、ウナ重の有名店、芦屋の三佳のウナ重が準備され、全員が、贅沢なウナ重を味わった。タレで輝くウナギがご飯の上ののって何とも美味しそう。ご飯と一緒に一気に口にかき込んだが、旨かったですね。とても幸せな気分でしたよ……



今回のスピーチは、加茂周治 ワイズ(神戸西クラブ)を招き「旧満洲での終戦前後と引き上げ」についてお話を頂いた。当時、加茂さまが生活されていたのが、日本である満州国の首都で「新京特別市」で現在の長春市であり、日本の統治期に新京と呼んでいた都市です。

日本が第二次大戦で敗戦となり、いっぺんに日常生活がかわってしまい、金銭、食事、衣服等での耐え難いような苦勞が語られていた。加茂さんの母親が大変な苦勞をされ子供を守り育てた日常や、満洲と一緒にいた日本人の苦勞と必死に家族を守ろうとする話は胸に迫る話であった。日本の敗戦となって、満洲にロシア軍がやってきて、機関銃で平気で多くの



日本人を殺したり、強姦、略奪が行われ、日本の女性を守るべく隠したり、髪の毛を切って男性の姿となり難を逃れたり、中には若い女性が自分で命を絶ってしまった等、生々しく語られた。あまりにも悲惨な話で驚くばかりであった。

引き上げるため満洲鉄道で多くの日本人と一緒に帰国された経過の中、生まれたばかりの赤子をおいたままにしたり、十分な食事もなく栄養失調症で死なせてしまったり、今では、考えられない状況であったとのことである。

当時の多くの日本人はこのように食べることを不自由で生きるのに必死で子供を守るために頑張っていたのがよく分かった。

小生も生まれたのは、昭和19年(1944年)中国の天津で生まれ、天津市で仕事をしていた父親は、召集令状で戦争に向き合い、残された母親は、乳飲み子の小生を抱えて、終戦の数カ月前に満鉄に乗り母の実家の京都に帰国した。いま80歳まで元気に過ごしているが、日本に帰国が出来てよかったとおもう。



戦争は知らない世代であるが、帰国した父親が所属する部隊と敵との銃撃戦、終戦直後には、満洲でロシア軍の非道なふるまい、シベリア抑留された日本兵の悲惨な生活等よく聞かされた。小学校の同級生には、満洲生まれ、朝鮮生まれなどが大勢いる。中国に残されていたら中国残留孤児になっていたかもしれないという世代である。また、上野ワイズ、ご自身は、戦争開戦直後に、ブラジルから交換船でアメリカを経由して帰国したご経験をお持ちですが、ご自身の戦争体験の中でロシア軍の非情なふるまい等話をされていた。



加茂様には、このような貴重で悲惨なすごい経験をお話頂き、心から感謝したい。若い人たちにも知って欲しい内容である。



権 甲植ワイズの聖句の読み解きから一言……

「真理はあなた達を自由にする」という言葉がある。自分の意見価値観さえ一旦保留し他の意見、価値観の存在を認める「寛大さ」だけでなく他の意見にも耳を傾け対話しようとする「偏見のなさ」さらに自分の意見を修正、変更する「素直さ」が本当の自由に到達すると記されていたが、本当にそうですね。トランプさんやプーチンさんに謙虚な姿勢で相手に向き合い、自分のことばかり、考えずに相手を謙虚に認め、「寛大さ」と「偏見のなさ」と「素直さ」で対応すれば、戦争が終わると思いました。

色々な会議や検討会の中で、自分の意見にこだわったり、押し通そうとすることがよくありますが、謙虚に相手を認め拝聴して修正することが本当の自由なのですね。

よく肝に銘じます。有難うございます。

福原吉孝

Yサ、ユース委員会報告

2026年4月26日(日)(14時～16時)西日本区オンライン事業懇談会が、開催されました。

進行 YMCA サービス事業主任 森 博之(熊本ジェーン)
ユース事業主任 上杉 徹(神戸西)

委員会は、14時から定刻に始まりました。

最初に各部から(中部、びわこ部、京都部、阪和部、中西部、六甲部、瀬戸山陰部、西中国部、九州部)からの部長、主査の出席確認がされました。

その後開会挨拶、引き続き、プログラムが進行していきました。次に、YMCA サービス事業方針である

「YMCA とともに、みつけよう。つながろう。よくなっていこう。」
(Let's discover connect and improve together with the YMCA)

事業主題の実現を目指すことが森博之Yサ事業主任から確認されました。

続いて、ユース事業方針の事業主題である

「明日の指導者は今日造られる」
(Tomorrow's leader will be brought up today)

ワイズメンとユースによりその課題解決に向けた地域活動の実践が、未来人の育成につながるということが、上杉徹ユース事業主任から確認されました。

そしてユースとワイズメンをつなぐための異業種交流ミーティングを实践すること、各クラブで、ユースを巻き込んだプログラム例会の推奨など、事業計画が話されました。

また、2026年3月22日に Y's XSDGs Youth Action 2026 on-line プレゼンテーションイベントが開催され23チームによる活動プランが発表されたことが報告されました。

次年度に向けてワイズとユースが、もっと、もっとつながればと期待します。 濱瀬 真知子

2026-27 年度六甲部準備役員会

5月30日(土)14:00～16:00 神戸 YMCA に於て、次期六甲部の準備役員会(引継ぎ会)が開催されました。

杉本次期六甲部部長の部長主題を「和を以て貴しとなす」とされ、活動計画・部行事予定・部長訪問予定日(芦屋クラブは7月15日)が発表されました。

福原吉孝地域奉仕・環境事業主査が「キラリと輝くアート展」の大成功を発表、次期幸田兵衛主査(神戸ポートクラブ)も是非次年度も繋げたいと決意を語られました。

次期第一回評議会は7月11日(土)開催となりました。



終了後、久しぶりに「おと吉」にて懇親会を持ち、楽しい時間を過ごしました。芦屋クラブからは福原次期会長・濱瀬次期Yサ主査・次次期六甲部部長(予定)の桑野が参加しました。

桑野友子

ビバルディ「四季」から「春・夏」

5月9日神戸バイブルハウス(YMCAと同じく教派を超えたキリスト教主義組織、神戸 YMCA も今般会員として加入)主催のコンサートが素晴らしい雰囲気のカトリック神戸中央教会で開催された。



バロック音楽で定評あるテレマンによりビバルディ「四季」から「春・夏」が演奏された。指揮者延原氏のトークと楽器視聴などユーモアをもって披露され、その後、馴染のあるクライスラー「愛の喜び」「愛の悲しみ」が演じられた。

200名弱の参加があり、ワイズ芦屋クラブからは田辺・桑野・島田が楽しみを共にした。 島田 恒



Harp & Organ」コンサート

初夏の5月の午後、岡本教会で「Harp & Organ」コンサートが行われました。

中西部なかのしまクラブの支援活動のお誘いで、芦屋クラブ、芦屋教会の友人とともに参加いたしました。



散歩コースの懐かしい教会で、他部のワイズのお仲間との久々の出会いは楽しいものです。

リードオルガンは、抑えた色調で、さすがに芦屋教会のオルガン奏者は素晴らしいと感想を述べられ、ハープ演奏は身近で弦の動き、震えまでが見られ美しい音色に酔いました。

次の週に、「いずみホール」で室内楽コンクールに優勝した海外のグループの演奏を聴く機会に恵まれました。ピアノ、ヴァオリンの奏でる見事なハーモニー、アイコンタクトで絶妙なタイミングとリズムが時に激しく時に優雅に奏でられ感動の拍手を惜しまなく送りました。芸術に触れた初夏に感謝です。

柏原佳子

『 聖句 読み説き 』

16節の「心の包皮を切り捨てよ」は割礼とよばれ、男子性器の包皮を生後8日目に切り取ること。

これまでのキリスト教は、大きな問題に直面した時、新しく聖書に向かい直すという姿勢を持ってきました。つまり、かつてのキリスト教は愛と平和を説きつつ、実際には帝国主義・植民地主義で侵略等の歴史を形成してきた事実があります。そのようなキリスト教の歴史を振り返る時、人々の間でそれまでの聖書の読み疑問を持ち根本的に新しい読み方を提案するようになり、正典とされている書物も異端とされた書物も批判的に吟味して、信仰の先達の福音理解を包含的に学ぶ必要があると新しく気づきました。私達はズーッと宗教伝統の中で培われて来た教義や中心的な教えから明らかに逸脱しているものに全て「異端」と言う烙印を押すように教えられてきました。それ等は教会の組織を変容させたりする恐れ故、禁止し危険なものとなりました。宗教改革を起こしたルター派も異端とされながら後に認められ主流になると新しい聖書解釈をする再洗礼派を「異端」と弾圧しました。

日本語で「弟子たち」と訳されている言葉はギリシャ語では「学ぶ者たち」(マセータイ)です。

私達キリスト者はその人生を通して「学ぶ者たち」であろうとする希望と責任を持つ者なのです。そして、それは「どうしたら偏見差別をなくしていけるのか、どうしたら世界中の人々が平和で幸いな生を生きられるようになるのか」等、問いを持って常に新しく聖書を学ぶことなのです。そしてこれは様々な人々の経験を踏まえて「福音」を学び合い、新しく理解し直していく事に他なりません。

権 甲植

5月第2例会議事録

日時： 5月27日(水) 18:00~19:30

場所： 芦屋市民センター205号室

参加者： 田辺会長・上野・柏原・桑野・堤・福原・浜瀬
坂東(各ワイズ) & 井島裕介担当主事

議事・報告

◇プリテン編集会議 6月号

第1例会予定 会場は原則ホテル竹園芦屋

・6月17日(水) 19:00~21:00

「1年を振り返り、次期への活動を考える」

・7月15日 部長公式訪問

その他

◇4月会計報告 ・・承認

◇西日本区大会 6月12日(金)・13日(土)

前夜祭： KOTOWA奈良公園

大会： なら100年会館 懇親会： ホテル日航奈良

午前 代議員会・担当主事会・メネット会他

午後 大会受付 11:30 パナーセレモニー 12:45

懇親会(ディナーパーティー) 18:00~20:25

前夜祭： KOTOWA奈良公園、

参加者： 井島・上野・柏原・桑野・田辺・浜瀬・船橋・
福原・坂東(各ワイズ) 9名

☆当日は JR 芦屋駅に集合、新大阪発「特急まほろば」指定席で奈良まで、柏原書記と濱瀬ワイズのご手配でゆったりと旅をしましょう

◇ロースター原稿の件 最終チェック提出済

◇次期会長・主査研修会の登録費の件 会計が調べる

◇6月第2例会 6月24日(水)5時~8時

懇親会 柏原邸 万元ワイズ(西宮) のクッキング

希望者は改めて申し込んでください

会費 2,000 円 ワイン(柏原・桑野提供)

アルコールは各自差し入れ歓迎

◇YMCA 報告

6月27日(土) 神戸YMCA総会案内

書記 柏原佳子

YMCA ニュース

■6月1日はウォーターセーフティーデー！(水上安全の日)

神戸 YMCA のアクアティック(水泳)はウエルネスセンター学園都市(神戸市西区)、ファミリーウエルネスセンター(神戸市中



中央区)でプログラムを実施しており、両ウエルネスセンターで約1,450人が活動しています。今年から6月1日をウォーターセーフティーデーとし、9月ま

で様々なキャンペーンを実施し、水難事故を未然に防ぐ為の水上安全教育を行っています。6月以降は気温も高くなり、水辺での活動が増えてくる時期です。2025年夏季(7~8月)において溺水者数は全国各地で530人以上おり、その内45%が死亡しているというデータがあります。海辺での遊泳時や河川での川遊び、釣り中の溺れの事故が多く発生しています。海岸や河川の状況をしっかりと観察することや、ライフジャケット着用の徹底が必要です。過って水に落ちてしまった場合は、落ち着いて浮き身(背浮き)の姿勢をとることが大切です。基本的には浮いて待つことが大事ですが、自分の泳力が優れていれば余裕が生まれることは間違いないので、泳ぐ技術を習得して損はありません。また、溺れている人を見つけたらまずは①「119番へ連絡すること。」②「救助用品や浮く物を投げてあげる。」ことを忘れないようにしましょう。水の危険性を十分に理解しつつ水辺での活動を楽しみましょう！！

担当主事 井島 裕介

編集後記： 6月、今期最終号です。

田辺会長、11月号を除いてズーッとパラティアーに富む巻頭言有難うございました。

福原次期会長、楽しい巻頭言期待しています。

引き続き、柏原書記宜しく！

権ワイズ、「聖句読み説き」引き続き宜しく願います。

皆様、ワイズの行事以外でも楽しい原稿や写真期待しています。次年度もどうぞ宜しく願います。

桑野友子